

# 日本フードツーリズム学会 2018年度 年報 フードツーリズム研究 第4号



- 巻頭言 尾家建生 (1)
- 2018年度事業の概略 (2)
- セミナー報告
- 第31回フードツーリズム研究セミナー
- 「ゲストハウスのインバウンド客が求める日本の食と観光  
—FUJITAYA Kyotoの現場から— 高田剛司 (3)
- ワークショップの記録
- 「伝統料理（郷土料理）とインバウンド振興」
- 第33回日本観光研究学会 全国大会— 中村忠司 (4)
- 研究分科会報告
- フードトレイル分科会「カナダ・オンタリオ州CTA視察報告」 尾家建生 (6)
- 第1回研究発表会
- 信濃川と日本海を結ぶ“湯”の食文化と歴史—米王国の生産者と歴史から見て— 近藤政幸 (8)
- 抹茶（Matcha）のグローバル化に伴う翻訳のあり方 佐藤晶子 (11)
- ガストロノミーツーリズムと地域戦略
- 邑南町とサン・セバスチアンの事例から考える— 尾家建生 (15)
- 愛知県知多半島ブランド創出について—地域資源の活用と潜在力の醸成— 傍嶋則之 (17)
- 日本フードツーリズム学会 会則・入会申込書 (22)

日本フードツーリズム学会